

山口県知事「13日からマスク外す」

3/11 中国新聞



山口県は、新型コロナウイルス対策の会議を県庁で開き、13日以降はマスクの着用を個人の判断に委ねるとの方針を示した。学校現場では4月1日から着用を求めないことを基本とするとした。

県幹部たち約20人が出席し、担当職員が説明。感染対策に効果的な場面では着用を勧めるとし、事業者には各業界団体が示すガイドラインなどを踏まえて感染対策をするよう求めた。イベントの主催者は、出演者や参加者に着用を働きかける必要はないとした。

県が感染対策を認証した「やまぐち安心飲食店」の基準を緩和し、食事以外で求めていた着用の推奨はやめる。県職員も個人の判断に着用が委ねられるが、来客対応など重症化リスクの高い人に接する際は着用を勧めるという。

県内の感染状況は1月上旬をピークに減少傾向。村岡嗣政知事は13日からマスクを外すとし「マスクをして囲み取材を受けるのはこれが最後になる。コロナ前の日常を取り戻す大きなステップ。着脱が強制されないよう、県民一人一人が配慮してほしい」と話した。

